

2026年4月1日

各位

株式会社 地域デザインラボさいたま  
株式会社 埼玉りそな銀行

「しろくまビルディング」との施設の相互利用サービス開始について

りそなグループの地域デザインラボさいたま(社長 園田 孝文)は、運営する「りそな コエドテラス」のインキュベーション施設「Resona Kawagoe Base+」と hakuworks(代表社員 白田 和祐)が運営する「しろくまビルディング」との間で、施設の相互利用サービスを本日より開始します。これにより、それぞれの会員<sup>※1</sup>は両施設を利用可能になります。

※1 「Resona Kawagoe Base+」は月額会員とインキュベーション会員、「しろくまビルディング」はオールデイ、平日、ナイト、朝活、土日、法人会員が対象

➤ 川越と熊谷の連携による実践の場の拡張を通じて、事業成長を後押しします

しろくまビルディングは、コワーキングスペースやシェアオフィスに加え、多様な方が事業を試し、磨き、育てることができるテストマーケティングの場としてシェアキッチンやシェアショップも備えています。本サービスにより、りそな コエドテラスの「CLOCK KITCHEN<sup>※2</sup>」や「ECCOLA りそなコエドテラス<sup>※3</sup>」としろくまビルディングの実践機能を接続し川越と熊谷の両地域で事業を展開・検証できる環境を整えます。さらに、イベント等を通じた両施設会員の交流機会を創出し、埼玉県産業創出および持続的な発展に貢献します。

※2 飲食店営業が可能なシェアキッチンで、昼のランチ営業、夜のディナータイムを曜日替わりで提供している

※3 埼玉の商品を取り扱うセレクトショップおよび埼玉食材にこだわったピッツェリア・チーズファクトリー・ジェラートショップ

イメージ図



施設活用例

- ・地域資源を活用したイベントの共催(例:異業種交流会、各種ワークショップ、SNS 広告講座等)
- ・両施設の会員による交流会やセミナーの開催
- ・地域資源を活かした新しい働き方の提案と実践の場の提供

しろくまビルディングの施設概要

住 所	埼玉県熊谷市本町 1-222	
各フロア	1F:シェアキッチンおよびシェアショップ 2F:シェアアトリエ 3F:シェアオフィスおよびコワーキング 4F:シェアオフィスおよびイベントや休憩に利用可能なルーフ	
交 通	JR 高崎線・秩父鉄道秩父本線熊谷駅より徒歩 10 分	
運 営 事業者	会 社 名	合同会社 hakuworks(埼玉県熊谷市本町 1-222 2F)
	事業内容	建築の設計・デザイン、工事の管理、不動産の企画プロデュース、不動産の管理・運営、シェアスペースの管理・運営、不動産メディアの運営、SNS のコンサル・運用代行

## Resona Kawagoe Base+の会員が相互利用できる施設一覧

施設名	住 所
NETSUGEN	群馬県前橋市大手町 1-1-1 群馬県庁 32F
コワーキングスペース 7F(ナナエフ)	埼玉県さいたま市大宮区宮町 1-5 銀座ビル 7F
石蔵コワーキングロビーNESTo	埼玉県比企郡小川町大字大塚 7-4
コワーキングスペース base Co+ SHIKI	埼玉県志木市本町 5-24-21 SHIKISM ビル 4F
COKOGA OFFICE	茨城県古河市本町 4-2-27
しろくまビルヂング(本件)	埼玉県熊谷市本町 1-222

以上